

意見交換会（宇治市都市計画マスタープラン）議事録
対象：六地蔵地域

日時：2021/10/29 19：00～20：30

会場：六地蔵公民館

参加者：8名

宇治市：米田副部長、森田係長、藤田主任

マスタープラン検討部会：野田委員

発言者	内容
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市の人口がこれから減少する原因は分かっているか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化と都市部への人口流出が大きな原因と考えられます。高齢者人口の増加と生産年齢人口の減少が起きており、宇治市の魅力を上げ、雇用の場をつくり、子育て支援を行うなど、様々な施策を行う必要があります。
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵は宇治市の中でも特殊な地域で、住民は隣の京都市で買い物を行ったりしている。隣接する京都市の一部を含めて計画を考える必要がある。 ・宇治市の計画では、広い木幡地域の計画はよく聞かすが、六地蔵地域の計画の話はあまり聞かない。JRの複線化やイトーヨーカドー跡地など宇治市はどう活かしていくのか。 ・地下鉄東西線の駅を宇治市が多額の費用をかけて六地蔵に設けたが、それが活かされていない。 ・六地蔵は宇治市の北の玄関と言われるが、どこにもそれらしいことを掲げた看板がない。昔、プラザホテルがあった時はその看板があった。 ・今はコロナウイルスの影響で外国人観光客は来なくなり、商店は当面、国内の観光客を相手に商売をしていく必要がある。 ・六地蔵は通勤圏として非常に便利な場所であり、条件が揃えば若い人を呼ぶことは出来る。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市を含めて計画を考えなければならないことは認識しており、これまでのマスタープランでは六地蔵駅周辺を「広域拠点」としていましたが、今回から「連携拠点」に変更し、京都市と連携したまちづくりを行うことを記載しています。また、京都市も同じ視点でマスタープランを作成しています。 ・時代の変化と共に人々が求めるものも変わってきており、昔は駅前の総合スーパーで買い物が行われていたのが、今は品目によって

	<p>色々な場所で買い物が行われ、駅前の商店で求められるものは日用品や食料品に限られてきています。マスタープランは今後20年の計画ではありますが、定期的に見直しを行い、このような時代の変化に適応させながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> ・イトーヨーカドー跡地で開発されているマンションには650世帯ほど人が入るが、それにより宇治市の人口が一気に増えると、それだけの人を受け入れるための交通網の改善が必要になる。また、駅前の商店街も店がなくなってきており、もっと魅力のあるまちにしていけないと、入居した人々が宇治市に定着せず離れていってしまう。増える人口を宇治市の利益につなげる方策を考えて欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・本市も皆さんと一緒にまちの活気をつくり、盛り上げていきたいと考えています。六地蔵駅前の商店街については、商工部局の方も「商店街から提案があれば一緒に取り組んでいきたい」と言っており、商店街を振興する方法について、これを機会に地域の皆さんと一緒に考えながら取り組んでいきたいと考えています。
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵地域は住民の大半が高齢者になっており、まちづくりに取り組む上で大きな課題になっている。商店街も後継ぎがおらず、どんどん店がなくなっている。高齢者中心でも取り組んでいけるようなまちづくりが必要だと思う。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵は京都市内にすぐに行けたりと、便利な地域なので人口もあまり減っておらず、若い世代が入って来る可能性は十分にあります。高齢者に限らず、様々な年齢層を対象に商売を考えていけるとと思います。本市も産業振興課を新たに設けましたので、その部署なども活用して、相談して頂ければと思います。
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> ・このような問題があるから開発中のマンションの中に大きな店をつくるように要望したのだが、コンビニのような小さい店しかできなかった。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・出店に手を挙げる会社がなかったので、実現しませんでした。
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵は交通の便が良いので、高齢者でも快速電車に乗ればすぐに京都駅に行ける。夏は暑い中、歩いて近所の店に買い物に行くより、冷房の効いた電車で京都市に行き、冷房の効いた店で買い物を済ます人もいる。便利なため、お金を落とす場所が京都市になっている。 ・商店街を復興させるには、相当な努力が必要である。商店街を一から再編成するぐらいのことをしないと不可能だと思う。若い人は誰も買いに行かない。
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> ・大型マンションが建って人口が増えても、道路や歩道、学校や子育ての環境が追い付いていない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションが建つことにより道路も渋滞し、人が地域に愛着を持たずにただ住むだけで、まちの賑わいに繋がらない恐れもある。 ・人口を増やすのではなく、減ることを前提にまちづくりを考えた方が良いのではないか。 ・マンションが建ち過ぎると、周辺との調和や景観、コミュニティ等に支障が出るので、それを防ぐための規制も考えた方が良いのではないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションを規制することは難しいですが、マンション建設で人口が増えることについて、保育所や学校の受け入れは可能か、道路環境は安全かなどの点は見えています。今回、学校の受け入れは可能でしたが、保育所が不足するので、マンションの中に保育所をつくってもらいます。道路についても隣接するサポート道路や府道大津宇治線の整備を京都府と協力して取り組んでいるところです。 ・新しく宇治市に入る方には市の魅力を感じて住み続けてもらい、人口を増やすのではなくバランスのとれた年齢構成の人口にしていきたいと考えています。
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> ・開発中のマンションが出来ることで、マンションから多数の車両が入り出するようになる。付近の道路を歩行者、自転車、車が共存出来るように整備し、保育所に行く人が乳母車を押して安全に歩け、周辺で楽しく散歩も出来るような環境にすることをマスタープランに記載出来ないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランにも道路ネットワークについての計画を記載しており、幹線道路となる都市計画道路を整備して渋滞をなくし、幹線道路の交通が生活道路などに侵入することを防ぐことを考えています。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良街道の道路がぼこぼこで歩行者や自転車が利用しにくい。沿道のお店の人からは「何度も直すように要望しているが、直してくれない」と聞いている。 ・御蔵山商店街の道路も高齢者は危なくて歩けない。以前から改善されないままだが、本当に20年後には改善されているのか。
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> ・府道京都宇治線も歩道が途切れている箇所があり、通学路なのに傘を差すと危ないため、多少の雨だと濡れて歩いている子供もいる。毎回、改善するよう要望を出しているが音沙汰がない。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改修について取り組んではいますが、全ての路線に着手出来ないのも事実です。全ての路線を一度に改修することは難しいので、優先して取り組む路線を町内会からの要望書や住民の方々の意見なども参考にしながら判断し、取り組んでいるところです。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・大型のスーパーは、高齢になると食品売り場まで行くのも辛くなり、

	<p>商店街の店の方が便利になるので、商店街の振興に力を入れて欲しい。</p>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパーが無くなる理由として、店中の移動が大変であると言う話も聞いています。商店街の振興にも、そのような視点が必要かもしれないので参考にします。
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の中にも、御蔵山商店街の場所で事業を展開したいと言う人が出てきている。そのことを商店街の需要とあわせて、観光産業として連携させることをマスタープランに記載することは出来ないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランは、まちづくりの大きな計画を示すもので、きめ細かな方針や施策まで記載することが難しいです。それらについては、商工部局の計画や施策の中で取り組んでいく方が良いと考えます。 ・本市も大規模なマンションが建つことを商業振興などの良い方向に活かしていこうと考えており、商工部局もその認識のもと、地域の方々と協力して商業振興に取り組もうとしています。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の視点でまちづくりを考えるだけでなく、今の高齢者が楽しく暮らしている姿を若い人に見せることも、将来の人口の定着には必要ではないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランでも JR 六地蔵駅周辺について、「連携拠点として、鉄道駅と連携した快適な歩行空間の充実を図るなど、回遊できるまちづくりに努め、市民の商業ニーズの変化を踏まえ地域の特性をいかした魅力ある商業・業務集積を誘導します。」という方向性を記載しています。
参加者⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランにはコミュニティについて書かれているが、六地蔵にはコミュニティセンターもなく、観光案内や商業案内もない。どう言うものをコミュニティと位置付けているのか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの例としては町内会が挙げられます。また、六地蔵地域では「宇治市北の玄関街づくり協議会」で事業者や町内会の方が集まり、まちづくりについて考えておられるので、それもコミュニティの一つと考えています。
参加者⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会も地域の高齢化により、維持することが困難になっている。若い世代は平日働いており、休日にまで町内会の取り組みを行おうとはしない。今後、今の若い世代で町内会を維持していくことは難しい。地域で対策するにも解決策が見つからず行き詰っている。マスタープランでコミュニティの大きな計画を掲げても、町内会自体が機能していなければ意味がないので、これらの問題についても踏み込んで記載して欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、若い世代の人々の働き方が変わってきており、それにより町内

	<p>会の維持が難しくなっていることを大きな課題として認識しています。担当部署の自治振興課でも、地域の方々と意見を交換し、解決に向けて試行錯誤しながら取り組んでいるところです。マスタープランでは、コミュニティが活動していることを前提とした記載になっていますが、実状としてそのような問題があることも踏まえて考えています。</p>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> ・御蔵山商店街でも、「通いの場」というコミュニティが作られたりしており、市民の中でも色々なコミュニティをつくる動きはあるが、世代間で交流する場が無い。六地藏公会堂や隣の公園などを世代間交流のモデル地区のようにすることはできないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設も今後の人口減少により、今ある全ての施設を維持することが困難となるため、施設の見直しや改修が必要となります。今後の公共施設の在り方について検討していく上で、そのような視点での考えも必要だと思うので参考にします。
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市北の玄関街づくり協議会で六地藏地域のまちづくりを行っていく上で、宇治市から専門家を協議会に派遣することは出来ないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・地区まちづくり協議会でまちづくりについて詳しく学びたい場合は、本市から専門家を派遣する制度があります。ただし、回数に限度があります。
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・昔一度だけ、宇治市から専門家を派遣してもらったが、期待外れだった。しかし今回マスタープランを改訂し、まちづくりに取り組んでいくのであれば、六地藏は京都市や木幡などの近隣地域が関連した特殊な地域であることも踏まえ、地区まちづくり協議会にも専門家を派遣して貰ってまちづくりに取り組んでいく方が良いかもしれない。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・地区まちづくり協議会の中で、何か考えがあるのであれば、どのようなプランが良いかも含め、まずは本市に相談してもらえればと思います。
マスタープラン 検討部会委員	<ul style="list-style-type: none"> ・部会で議論していた内容が、今回の話し合いの中でもほぼ出ていた。 ・地域の魅力を上げることで人口の定着を図ることは、個別の地域のまちづくりの目標としては良いことだが、人口減少は全国的な傾向であるため、宇治市全体としては、人口が減少する中で、今のような便利なまちを維持していくことが大きな目標になると考える。 ・マンションが増えてもまちの賑わいにはならないと言う指摘はそのとおりで、SDGsにも地域文化を守ると言う内容があることから、土地柄や文化、景観など地域性を守ることが、地域の持続性を維持するために重要である。

	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が住みやすいまちづくりについては、高齢者に限らず、ベビーカーや車いすが通りにくい道路は、高齢者にとっても通りにくい道路となるため、世代を分けて考えず、人が住むのに便利かどうかと言う視点で考えるのが良いのではないか。
--	---